新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症のｸﾗｽﾀｰを経験して

執筆　レーベンはとがひら事務長河岸様
令和２（2000）年８月 10 日(月)

新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽでｸﾗｽﾀｰが発生すると、単なるﾉﾛやｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞといった施設内感染の拡大というﾚﾍﾞﾙの話ではなく、大規模災害並みのﾀﾞﾒｰｼﾞを受ける恐れがあると感じています。損壊・倒壊といった見た目の被害がないものの、めまぐるしく状況が変化し、日替わり・時間変わりで問題が複雑かつ深刻化していきます。「自宅待機期間 2 週間」という期限付きの災害と捉えることができるかもしれませんが、そんなに安易なものではなかったということを、身をもって、今、感じている際中です。

発生当初の傾向は、利用者の家族からの心配の声と、ﾒﾃﾞｨｱからの取材依頼が殺到しました。施設名が公表されると、地域からの苦情や施設前の道路からの見学者が増えました。ﾒﾃﾞｨｱが来るのは、一番を競っている感じなので２日目までくらいでぱったり止まります。
そして、残念なことがその次にかかってくる電話が、在宅系の同業者です。中には心配しての電話や励ましの電話もありますが、量的には一番多く苦情を言ってくるのが同業者でした。重複利用者のことや同日利用者のことなど関係者からの電話が一番対応に時間を費やしたと感じています。大変ご迷惑をかけているのはわかっています。でも、新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症に対しての理解がしっかりあれば、「そんな言い方や問い合わせ内容はないやろ!」と思うことが非常に多かったことが残念です。

特別養護老人ﾎｰﾑﾚｰﾍﾞﾝはとがひらの施設入居、ｼｮｰﾄｽﾃｲ、ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰと施設全域から発生した滋賀県初の介護事業所で起こった滋賀県最大のｸﾗｽﾀｰです。おそらく、滋賀県内で最も何をすべきかわかっている施設だと思います。まだまだ対応の途中ですが、できれば今後、同じような施設を出さないために、できるだけ早く、広く、現場の実際の情報を発信させていただきます。

やっておくべきことこと

●「新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽの侵入を予防するよりも、ｸﾗｽﾀｰを発生させない対策」に尽きると思います。
※今の世の中、どこでいつ感染するかわかりません。施設の職員や利用者に感染するなと言う方が難しいです。新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽに感染する人がいてもいいと思います。ただ、ﾚｰﾍﾞﾝはとがひらのように感染拡大してｸﾗｽﾀｰを発生させたらﾀﾞﾒです。

そのために平時にやっておくこと

①個人が取り組むべき「かからないためと媒介者にならないため」及び「濃厚接触者と認定されないため」の感染予防の徹底をする必要があります。
※これさえ出来ていたと言えれば濃厚接触者にはならない。濃厚接触者にならなければ自宅待機をしなくて良い　　＝職員の確保がしやすい
●「ﾏｽｸ着用、手洗い、消毒の徹底」　※その他の手間のかかる大層な予防策は必要ない
●発熱、咳、上気道の異変、腰痛、その他「自分でいつもと違う」と感じた場合は、すぐに休ませる。必要に応じて受診を勧める。
●三密回避の徹底：「ﾏｽｸ着用・1m 以上離れる・15 分未満」
※休憩は一人、向かい合って座らない、会議は窓を開け少人数短時間を徹底、特にたばこは危険。

②日々のｹｱでやっておけば完璧な方法

●ﾏｽｸとﾌｪｲｽｼｰﾙﾄﾞは常時着用（食事介助時は絶対）すべき
●排せつ介助時のみ使い捨てのｴﾌﾟﾛﾝ着用
●いちｹｱごとに手洗いと消毒を徹底（介助の内容により手袋）…排せつ・入浴等の限られたｹｱのみ手袋は着用。常時の手袋は不要。手洗い消毒さえしっかりできていれば問題ない。

③組織としてやるべきこと
※一番苦労するのは間違いなく職員の確保となります。
●このような事態が起こった場合やもし陰性濃厚接触者になった場合に出勤の意思があるか、また家族の理解　が得られるか＝平時に職員が家族としっかり話をして、ｺﾛﾅｳｲﾙｽの正しい理解をしてもらっておくことが大切かと思います。（場合によっては、職員家族向け研修を滋老協や事業者協議会等でやってもらえるのも一案）
○新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染者が発生した場合の職員が果たす責任について、職員だけでなく家族にも説明しておくべきです。
○職員には今のうちに、自分はどういう選択肢をとるのか家族と話して考えさせておくことも必要かと思います。
●ﾏｽｸ・ｶﾞｳﾝ・手袋・ﾌｪｲｽｼｰﾙﾄﾞは、どこも集めていると思いますが、特にﾌｪｲｽｼｰﾙﾄﾞは使いやすいものを確保する方が良いです。初期の段階から個人用を数枚配布し、個人管理をさせると数はそれほど必要ない。ｱﾙｺｰﾙ関係とｽﾌﾟﾚｰﾎﾞﾄﾙは想像以上に必要です。ﾍﾟﾀﾞﾙ式のごみ箱も相当必要です。ごみを押し込む用の棒も汚染ｺﾞﾐ箱には必置です。ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙで製作でも良いです。食事の提供はﾃﾞｨｽﾎﾟなると思いますが、ﾜﾝﾌﾟﾚｰﾄをお勧めします。ただし、食事形態によりﾜﾝﾌﾟﾚｰﾄで提供できないので、その他の形も必要と思います。
●ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞは重宝します。気づいたことや出来ていないこと、課題などすぐに書いて共有できると、各自が何をすべきか自ら考え動きやすくなります。
●職員の宿泊先の確保は、平時に近隣としっかり話し合っておくことが必要だと思います。ほとんどのﾎﾃﾙ関係は体よく拒否します。泊まる場所があることで出勤できる職員が増えます。
●他法人や他の拠点内施設からのﾍﾙﾌﾟは、多拠点の場合は安全施設へ派遣して、法人内から対象施設へ派遣するという方法も一つのﾙｰﾄとしながら、直接派遣ができる方法もあっても良いと思います。ｸﾗｽﾀｰ発生時はとにかくｽﾋﾟｰﾄﾞが必要です。初日～翌日には応援体制が組まれるのことが、施設にとって大変重要です。直接介護の支援だけでなく、施設内の消毒だけに回るとか、ｿﾞｰﾆﾝｸﾞの際に様々な準備や作製、物品の運搬など、支援いただけたら助かることが山のようにあります。貼り紙なども各所様々な所に必要となります。ﾚｯﾄﾞｿﾞｰﾝ以外での作業に人材投入していただけるだけでも、対応が非常に早くなります。ただし、面倒で重労働も多いですが。また、壮絶な現場を経験するのは、今後の自施設の対策に絶対に役立ちます。平時に立てたﾏﾆｭｱﾙやBCPはほぼ機能しないです。そして、日々対応が目まぐるしく変わります。経験しないとわからないことしかないので、直接派遣の道はあるべきだと思います。電話対応をしてもらえる事務員等の派遣もありがたいです。
●職員に無理をさせない雰囲気を作っておくことが大切です。少しの熱や喉が痛いから始まります。我慢して働き続けることでどんどん感染を広げています。誰かが熱を出しました。病院受診して念のためと抗原検査をしてみると陽性。その時には十数名に広がっていたというのが今回の形です。無理させない頑張らせないことも必要だったと思います。

最後に

●新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽを必要以上に恐れないでください。正しい知識を持って恐れてください。

●目の前で起こった集団感染を見て思うことは、マスク、人との距離、手洗い・手指消毒を確実にできている体制であれば怖くありません。

●よく現場を見てください。「マスクは皆しっかりしているよ」と思うかもしれませんが、実際には休憩のときに顎マスクをしたり、外していたりします。また、クセでマスクのズレを直した後手指消毒せずに業務をしています。マスクの確実な着用の徹底、手洗い・手指消毒の徹底をすれば、集団感染は起こらないと実感しています。確実に実施するには、担当を決めて毎日毎日現場に足を運んでチェックをしてください。

●「はとがひらに関わる利用者や職員やその家族は、社会から切り離される」ということが実際に起こっています。濃厚接触者でもない職員の家族がはとがひらに務めているから、父親が出勤をさせてもらえない。子供が学校や習いごとに行けないということが、現在も起こっています。もし、はとがひらで働いていることが知られたら、近所の人に何と言われるか、住み続けられるだろうかという不安を抱えて生活している職員もいます。この問題は、施設がどうこうすることができない問題です。

POINT このふたつのことを対策しておけば恐くない

①集団感染を引き起こさないこと

はとがひらの施設内で集団感染を起こしている場所は、おそらく休憩室とユニット内です。

【休憩室について】

・休憩は必ず 1 人で、食事中は誰とも会話しないでください。
・複数人同室でも必ず 1m 以上離れて、会話をするときはマスクを着用してください。
・退室するときは消毒をしてください。

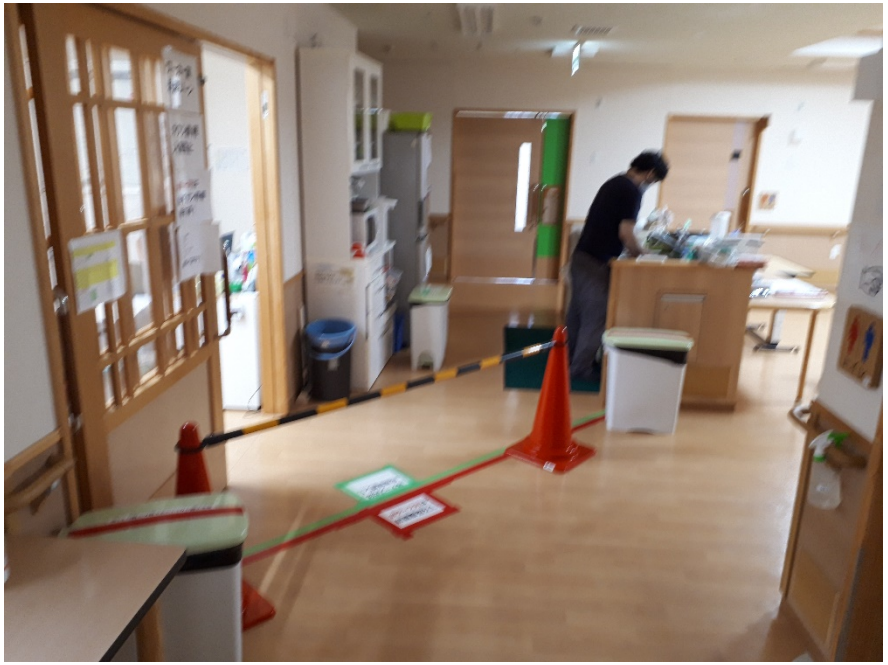
【ユニットについて】

・ユニットにおける集団感染は“人の手”による接触感染の広がりです。
・1 ケア 1 手洗い（手指消毒）を徹底してください。1 手指消毒できているか必ず担当者を決めてラウンドするなりチェック体制をするなりして徹底してください。
・アルコールボトルは居室や部屋ごとに設置して、1 ケア 1 手指消毒を徹底してください。大量のボトルをユニット内に置くことになりますが、それでよいと思います。
・マスクのズレを直した後は手指消毒を徹底してください。
・手で顔や髪を触らないでください。触った後は手指消毒を徹底してください。
・アルコール液は手にボトボトになるまで出してください。
・とにかく手指消毒できているか確実に確認してください。

以上の対策をしていれば集団感染を恐れることはありません。陽性者が単発で出ても広がっていなかったという結果に繋がります。

②濃厚接触者にならないこと

・濃厚接触者と判断されると、PCR 検査結果が陰性でも 14 日間自宅待機になります。
・濃厚接触者が多ければ多いほど、施設としては大打撃です。
・濃厚接触者とならない意識を持てば、自分は人からうつされないし、保健所からも濃厚接触者だと判断されないことになります。
・濃厚接触者とならないためには、1m 以内 15 分以上必要な防具なしで接しないことです。必要な防具なしという基準はおそらく保健所によって多少違うと思いますが、こちらが「マスクもしていました。手指消毒もしていました。飛沫感染や接触感染に気を配っていました。食事介助ではフェイスシールドもしていました」等と説明できれば、たとえ 1m 以内 15 分以上介助していても濃厚接触者だと判断されないかもしれません。
・職員と利用者、互いに濃厚接触者とならにために、普段から会話はマスクして、可能なら 1m 以上空けることが大切です。
・可能なら部署間のヘルプはなくしたほうがよいと思います。部署をまたいで濃厚接触者が出てしまうと施設は大打撃を受けます。ヘルプに行くなら、ヘルプ先の部署の人と会話しない、1m 以上空ける、介護は 15 分以上かけないといった決め事をするべきです。
・結果論ですが、新型コロナが終息するまでは、ケアについても 15 分以内に終わるような取り組みにしていたら、これほどまでの集団感染にならなかっただろうと思います。



赤テーブル内は
防護服有り！
赤テーブル内は
防護服有り！

緑ゾーン内は
防護服無し！
赤テープ内は
防護服有り！

出勤時は
階段を
使用！！

消火器

8/ (金) 出勤者
全員 2F・3Fへ

アルコール

トイレ
特浴浴室
消火器

出勤時は
階段を
使用！！

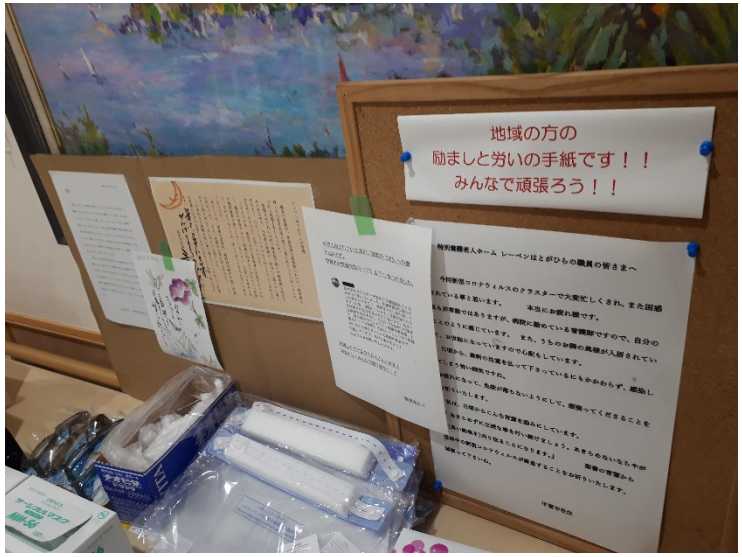
以前入所されていた方のご家族の SNS への書き込みです。

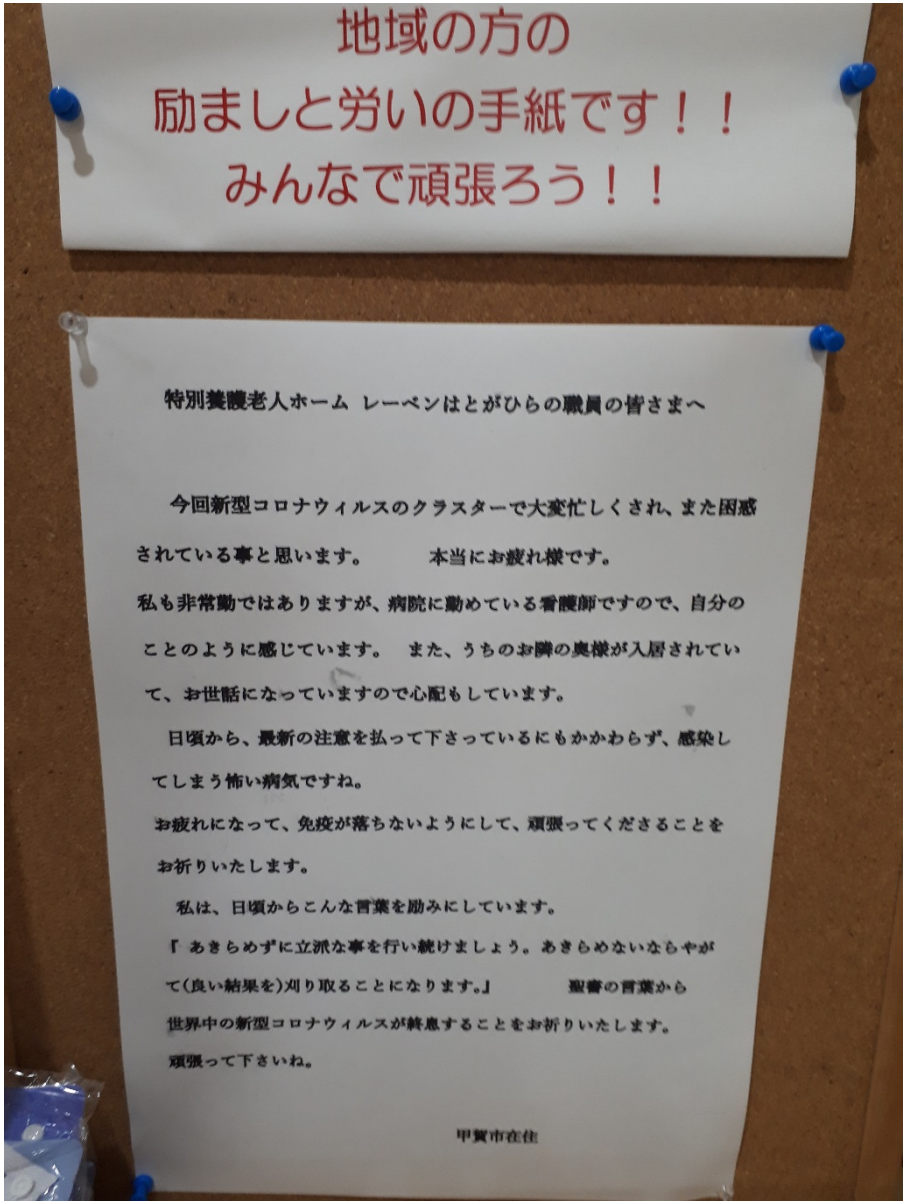
甲賀市の情報交換ページで 8/7 に見つけました。

[redacted]

私の父もクラスターが起きた介護施設に亡くなるまで入所していました。私達家族が出来なかった事をして下さり、最後まで父に寄り添って下さった事、感謝しています。皆様が居たから父は幸せに晩年を過ごせたと思います。私は一生感謝を忘れません。私もいつかは老いが来ます、誰に頼るのでしょうか？医療従事者様、介護スタッフの皆様にではないでしょうか？皆様がいるから成り立っている高齢化社会です。
応援しています。絶対に乗り切ろう！
心よりのお見舞い申し上げます。

応援して下さる方もたくさんいます！
頑張ろう！みんなで乗り切ろう！！





地域の方の
励ましと労いの手紙です！！
みんなで頑張ろう！！

特別養護老人ホーム レーベンはとがひらの職員の皆さまへ

今回新型コロナウィルスのクラスターで大変忙しくされ、また困惑されている事と思います。　本当にお疲れ様です。
私も非常勤ではありますが、病院に勤めている看護師ですので、自分のことのように感じています。　また、うちのお隣の奥様が入居されていて、お世話になっていますので心配もしています。
日頃から、最新の注意を払って下さっているにもかかわらず、感染してしまう怖い病気ですね。
お疲れになって、免疫が落ちないようにして、頑張ってくださることをお祈りいたします。
私は、日頃からこんな言葉を励みにしています。
『 あきらめずに立派な事を行い続けましょう。あきらめないならやがて(良い結果を)刈り取ることになります。』　聖書の言葉から
世界中の新型コロナウィルスが終息することをお祈りいたします。
頑張って下さいね。

甲賀市在住